

# MSO

MUSIC WORKSTATION



**EDS** Enhanced Definition Synthesis

**TouchView**  
Graphical User Interface

**REMS** GENERAL **MIDI**

## インストール・ガイド

# KORG

# インストール・ガイド

M50 は、コンピューターに接続することによって、コンピューターと M50 との間でノート・データなどの演奏情報やサウンド設定などを MIDI で送受信します。

専用エディター M50 Editor/Plug-In Editor を使用すると、コンピューター上でプラグイン・ソフトウェアのように M50 を扱うことができます。

また、M50 のエクスターナル・コントロール機能を使用すると、DAW やソフトウェア・シンセサイザーなどをコントロールすることができます。

M50 をコンピューターに接続するためには、次の工程で作業します。


## M50 の USB 端子と、コンピューターの USB ポートを接続するときは

1. 付属 CD-ROM から KORG USB-MIDI ドライバをコンピューターにインストールします。
2. M50 Editor/Plug-In Editor を使用する場合は、付属 CD-ROM からコンピューターにそれらをインストールします。
3. M50 の USB 端子とコンピューターの USB ポートを接続します。
4. M50 とコンピューターで必要な各設定を行います。

## M50 の MIDI 端子と、コンピューターの MIDI インターフェイスを接続するときは

1. M50 の MIDI OUT 端子と MIDI IN 端子を、MIDI インターフェイスの MIDI IN ポートと MIDI OUT ポートに接続します。

MIDI インターフェイスについては、MIDI インターフェイスに付属されている取扱説明書をご覧ください。

 USB-MIDI インターフェイス機器によっては、M50 の MIDI エクススクレーシブ・メッセージを送受信できない場合があります。

2. M50 の Global モードで、必要な各設定を行います。
3. コンピューター側で必要な各設定を行います。  
必要となる MIDI ドライバや接続方法については、MIDI インターフェイスに付属されている取扱説明書をご覧ください。

- \* Apple、Mac は、Apple Inc. の商標または登録商標です。
- \* Windows XP は、Microsoft Corporation の登録商標です。
- \* MIDI および GENERAL MIDI は社団法人音楽電子事業協会 (AMEI) の登録商標です。
- \* 掲載されている会社名、製品名、規格名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

## ソフトウェアのインストール

### ソフトウェアについて

同梱されている CD-ROM に収録されたアプリケーションの最新版は、コルグ・ホームページ (<http://www.korg.co.jp>) でダウンロードすることができます。

### 使用前のご注意

本製品のソフトウェアの著作権は、すべて (株) コルグが所有しています。

本製品のソフトウェアの使用許諾契約が別途に付属されています。ソフトウェアをインストールする前に、必ずこの使用許諾契約をお読みください。ソフトウェアをインストールすると、この契約にご同意いただいたこととなります。

### 動作環境

#### KORG USB-MIDI ドライバ

##### Windows:

対応コンピューター：  
USB ポート搭載機種 (Intel 社の USB Host Controller を推奨)

対応 OS：  
Microsoft Windows XP Home Edition / Professional / x64 Edition Service Pack 2 以降 (x64 Edition 用の MIDI ドライバはベータ版)  
Microsoft Windows Vista Service Pack1 以降のすべてのエディション (64 ビット用の MIDI ドライバはベータ版)

##### Macintosh:

対応コンピューター：USB ポート搭載機種

対応 OS：Mac OS X 10.3.9 以降

#### M50 Editor、M50 Plug-In Editor

##### Windows

対応コンピューター：

CPU：  
Intel Pentium III / 1GHz 以上、Pentium D または Core Duo 以上を推奨

メモリ：  
512MB 以上 (1GB 以上を推奨)

モニター：  
1,024 x 768、16bit カラー以上

Windows XP、Windows Vista の動作環境を満たす USB ポート搭載のコンピューター

対応 OS：  
Microsoft Windows XP Home Edition/Professional Service Pack 2 以降、Windows Vista Service Pack1 以降のすべてのエディション (64 ビット版を除く)

### Macintosh

対応コンピューター：

CPU:

Apple G4 800MHz 以上 (Intel Mac 対応)、G5 または Core Duo 以上を推奨

メモリ:

512MB 以上 (1GB 以上を推奨)

モニター:

1,024 x 768、32000 色カラー以上

Mac OS X の動作環境を満たす USB ポート搭載の Apple Macintosh

対応 OS:


Mac OS X 10.4.11 以降

\* M50 Plug-In Editor の対応フォーマット:

Windows: VST、RTAS

Macintosh: VST、Audio Unit、RTAS

\* 別途、M50 Plug-In Editor はホスト・アプリケーションの動作条件を満たしている必要があります。

 M50 Editor および M50 Plug-In Editor は、OS 上に複数起動することができません。そのため、同時に 2 台以上の M50 を、これらのエディターでエディットすることはできません。

## Windows のドライバとエディター・ソフトウェアのインストール

Note: Windows へのソフトのインストールおよびアンインストールを行うためには、Administrator の管理者権限が必要です。詳しくはシステム管理者に相談してください。

Note: M50 とコンピューターを USB で接続する前に、M50 アプリケーション・インストーラーで KORG USB-MIDI Driver Tools をインストールしてください。

### M50 アプリケーション・インストール

M50 アプリケーション・インストーラーから KORG USB-MIDI Driver Tools や M50 Editor/Plug-In Editor をインストールします。

1. 付属 CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。

通常、「M50 Application Installer」が自動的に起動します。コンピューターの設定などで自動的に起動しない場合は、CD-ROM 中の「KorgSetup.exe」をダブルクリックします。



2. 画面の指示に従って、KORG USB-MIDI Driver Tools や M50 Editor/Plug-In Editor などのソフトウェアをインストールしてください。

Note: USB ポートを経由してコンピューターと M50 を使用するときには、KORG USB-MIDI Driver Tools をインストールしてください。

3. 選択したすべてのソフトウェアをインストールしたら、インストーラーを終了します。
4. USB ポートを使用するときには、KORG USB-MIDI Driver Tools から、さらに KORG USB-MIDI ドライバをインストールする必要があります。  
次の「KORG USB-MIDI ドライバのインストール」を参照して、インストールしてください。

### KORG USB-MIDI ドライバのインストール

KORG USB-MIDI ドライバは、KORG USB-MIDI Driver Tools を使ってインストールします。

1. コンピューターへ KORG USB-MIDI Driver Tools のインストールを済ませておいてください。
2. コンピューターの USB ポートと M50 の USB 端子を、USB ケーブルで接続します。そして、M50 の電源をオンにします。  
コンピューターが M50 の接続を、初めて認識すると、Windows の標準ドライバが自動的にインストールされます (これは KORG USB-MIDI ドライバではありません)。

Note: ドライバのインストールは USB ポートごとに必要です。KORG USB-MIDI ドライバをインストールしたときは異なる USB ポートに M50 を接続して使用する場合は、同様の手順で、新たに KORG USB-MIDI ドライバをインストールし直してください。

3. タスクバーの[スタート]→[すべてのプログラム]→[KORG] →[KORG USB-MIDI Driver Tools] →[KORG USB-MIDI デバイスのインストール]の順にクリックします。  
セットアップ・ユーティリティが起動します。

4. 画面の指示に従って、KORG USB-MIDI ドライバをインストールしてください。

インストールの途中で、「...Windows ログテストに合格していません。」という内容の、デジタル署名認証に関するダイアログが表示される場合がありますが、[ 続行 ] をクリックして先に進みます。

Note: インストールできないときは、コンピューターがデジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている可能性があります。「デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには」に従って、コンピューターの設定を確認してください。

5. KORG USB-MIDI ドライバをインストールしたら、インストーラーを終了します。

再起動を求められた場合には、[ はい ] を選んでコンピューターを再起動してください。

KORG USB-MIDI ドライバのインストール、セットアップ、またはアンインストールについては、インストール・マニュアル (HTML) を参照してください。

インストール・マニュアルを表示するには、タスクバーの [ スタート ] → [ すべてのプログラム ] → [ KORG ] → [ KORG USB-MIDI Driver Tools ] → [ インストールマニュアル ] を選びます。

## M50 と USB-MIDI ドライバのポートについて

### KEYBOARD ポート

本機の MIDI メッセージ（鍵盤やコントローラーのデータ）をコンピューターのアプリケーションで受信するときに使用します。

### SOUND ポート

コンピューターのアプリケーションの MIDI メッセージを本機の内部音源で発音させるときに使用します。

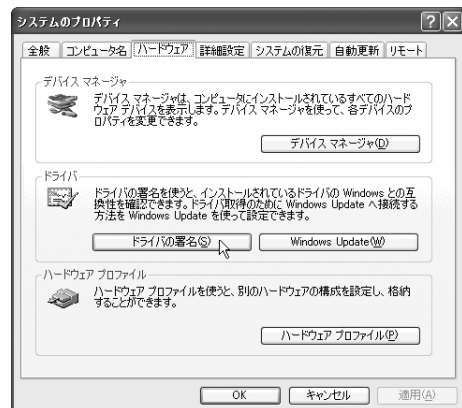
## M50 Editor/Plug-In Editor のインストールとセットアップ

M50 Editor/Plug-In Editorのインストールとセットアップ方法については、「M50 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(PDF) をご覧ください。

## デジタル署名の認証によるドライバのインストールの抑制を回避するには (Windows XP のみ)

使用しているコンピューターが、デジタル署名の無いドライバをインストールできないように設定されている場合は、KORG USB-MIDI ドライバをインストールすることができません。次の方法でドライバをインストールできるように設定を変更してください。

1. タスクバーの [ スタート ] → [ コントロールパネル ] の順にクリックして、コントロールパネルを表示します。
2. コントロール パネル内の [ システム ] をダブルクリックし、[ ハードウェア ] タブをクリックします。
3. “ ドライバ ” で、[ ドライバの署名 ] をクリックします。



4. “ どのように処理しますか? ” で、[ 無視 ] または [ 警告 ] を選び、[ OK ] をクリックします。

必要なときは、KORG USB-MIDI ドライバをインストール後に、この設定を元に戻してください。



## Mac OS X の KORG USB-MIDI ドライバとエディター・ソフトのインストール

### ソフトウェアのインストール

KORG USB-MIDI ドライバや M50 Editor/Plug-In Editor などのソフトウェアのインストーラーを 1 つずつ起動し、それぞれをインストールします。

1. 付属の CD-ROM を、コンピューターの CD-ROM ドライブに挿入します。
2. CD-ROM 中のソフトウェアのインストーラー (.pkg) をダブルクリックして、インストーラーを起動します。  
それぞれのインストーラーは、次のフォルダに納められています。
  - KORG USB-MIDI ドライバ  
「KORG USB-MIDI DRIVER」フォルダの KORG USB-MIDI DRIVER.pkg
  - M50 Editor  
「M50 Editor」フォルダの M50 Editor.pkg
3. 画面の指示に従って、KORG USB-MIDI ドライバや M50 Editor などのソフトウェアをインストールしてください。  
*Note:* USB ポートを経由してコンピューターを接続するときは、KORG USB-MIDI ドライバをコンピューターにインストールしてください。
4. ソフトウェアをインストールしたら、インストーラーを終了します。

### M50 Editor/Plug-In Editor のセットアップ

M50 Editor/Plug-In Editor のセットアップについては、「M50 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(PDF) をご覧ください。

### M50 と USB-MIDI ドライバのポートについて

#### KEYBOARD ポート

本機の MIDI メッセージ (鍵盤やコントローラーのデータ) をコンピューターのアプリケーションで受信するときに使用します。

#### SOUND ポート

コンピューターのアプリケーションの MIDI メッセージを本機の内部音源で発音させるときに使用します。

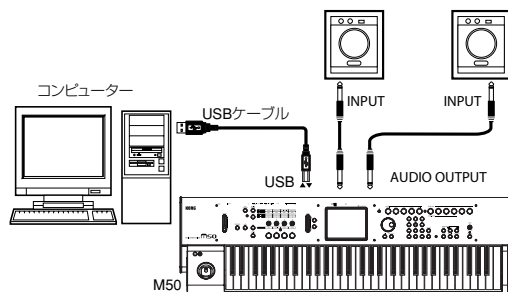
## コンピューターとの接続

### USB による接続とセットアップ

*Note:* M50 の USB 端子は、MIDI データの送受信のみが可能です。

- ⚠ M50 とコンピューターを USB で接続するときは、必ず事前に KORG USB-MIDI ドライバをコンピューターにインストールしてください。なお、Windows でご使用の場合は、ドライバのインストールは USB ポートごとに必要です。KORG USB-MIDI ドライバをインストールしたときは異なる USB ポートに M50 を接続して使用する場合は、新たに KORG USB-MIDI ドライバをインストールし直す必要があります (※ 参照 : p.2 「Windows のドライバとエディター・ソフトウェアのインストール」)

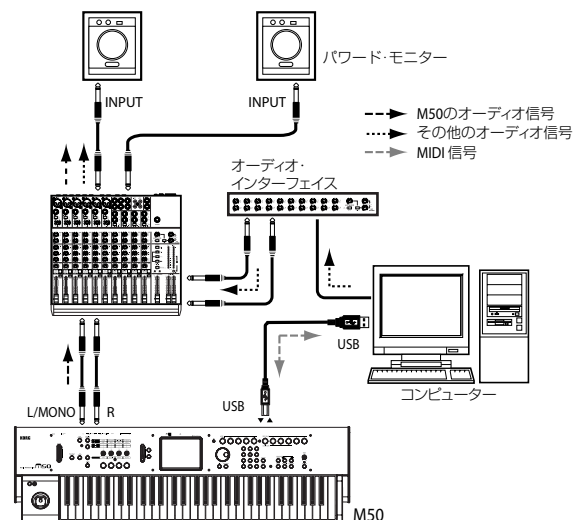
1. M50 の USB 端子とコンピューターの USB ポートを USB ケーブルで接続します。



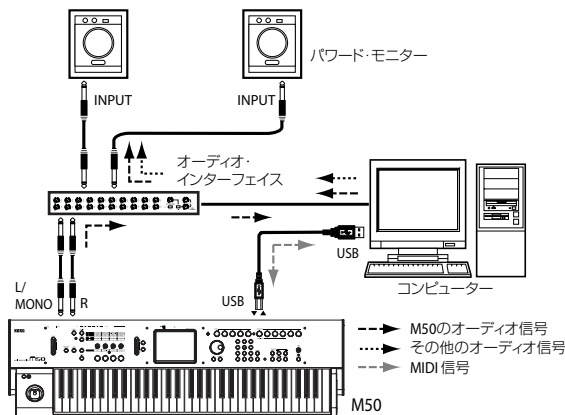
2. M50 の Global モードで、必要な各設定を行います。  
(※ 参照 : p.5 “M50 の Global モードでの各設定”)
3. コンピューター側で必要な設定をします。  
M50 Editor/Plug-In Editor についての詳細は「M50 Editor/Plug-In Editor 取扱説明書」(PDF) を参照してください。

### USB 接続時の M50 Editor/Plug-In Editor 使用例

M50 のオーディオ信号と、オーディオ・インターフェイスから出力されるホスト・アプリケーション上のオーディオ信号と一緒にミキシングするときは、以下のように設定します。



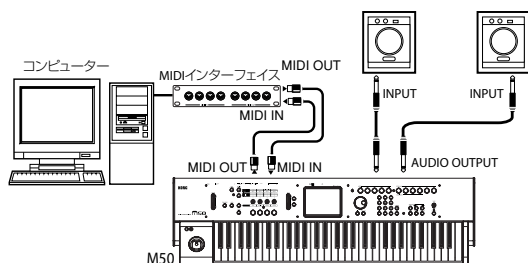
M50 のオーディオ信号にプラグイン・エフェクトをかけたり、M50 のオーディオ信号をホスト・アプリケーション上でその他のオーディオ・トラックのデータなどと一緒にコントロールしたいときは、以下のように設定します。それぞれのご使用のホスト・アプリケーションに合わせて設定してください。



## MIDI 端子によるコンピューターとの接続

市販の MIDI インターフェイスを介して、コンピューターと接続することができます。

1. M50 の MIDI OUT 端子と MIDI IN 端子を、MIDI インターフェイスの MIDI IN ポートと MIDI OUT ポートに接続します。MIDI インターフェイスについては、MIDI インターフェイスに付属されている取扱説明書をご覧ください。
- ⚠ USB-MIDI インターフェイス機器によっては、M50 の MIDI エクスルーシブ・メッセージを送受信できない場合があります。



2. M50 の Global モードで、必要な各設定を行います。「M50 の Global モードでの各設定」を参照してください。

## M50 の Global モードでの各設定

### “Local Control On” の設定

コンピューターや外部 MIDI シーケンサーと M50 を接続するときは、エコー・バックをオンにします。エコー・バック・オンにすると、コンピューターや外部 MIDI シーケンサーは、MIDI IN/USB で受信したデータをそのまま MIDI OUT/USB から送信します。

そして M50 のローカル・コントロールをオフに設定します。ローカル・コントロールをオフにすると、M50 内部でキーボード部やコード・トリガー・スイッチ [1] ~ [4] と、音源部が切り離されます。

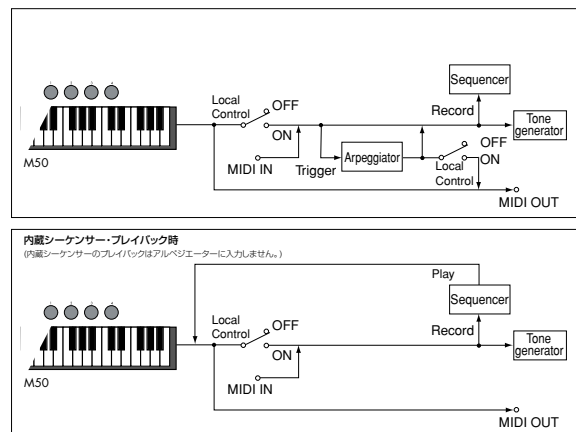
M50 の鍵盤を弾いたり、コード・トリガー・スイッチ [1] ~ [4] を押すと、演奏データが外部 MIDI シーケンサーやコンピューターに送信され、これらのエコー・バックで M50 の音源が発音することになります。

M50 のローカル・コントロールをオフにすることで、鍵盤を弾くこと等による発音と、エコー・バックによる発音とで、二重に発音するのを防ぐことができます。

ローカル・コントロールの初期設定はオンです。ローカル・コントロールをオフに設定するには、Global P1: MIDI-MIDI Basic ページの “Local Control On” チェック・ボックスのチェックをはずします。

M50 だけで使用するときには、ローカル・コントロール・オンに設定します。(オフ時は、単体で鍵盤を弾いても音が出ません。)  
(☞ 参照：PG p.222 「Local Control On」)

Note: M50 Editor/Plug-In Editor を起動時、自動的に M50 のローカル・コントロール情報は適切な状態に設定されます。



### MIDI Filter “Exclusive” の設定

システム・エクスルーシブ・データを送受信するときは、MIDI Filter “Exclusive” チェック・ボックスのチェックをつけます (Global P1: MIDI-MIDI Routing ページ)。コンピューターなどを接続し、本機をエディットするとき、または双方でエディットするときはチェックしておきます。M50 Editor/Plug-In Editor を使用するとき、チェックをつけてください。MIDI Filter “Exclusive” の初期設定はチェックがついています。(☞ 参照：PG p.226 「Enable Exclusive」)

